



神明中だより

<http://www.suginami-school.ed.jp/shinmeichu/>

教育目標 創造・鍛錬・共生

校訓 自主・自律

令和4年6月28日

6月号

杉並区立神明中学校

杉並区南荻窪2-37-28

思いやりの心

校長 山内 清一

6月4日（土）、晴天の下で体育大会が行われました。日差しの強い一日で熱中症が心配されましたが、無事終わることができました。

開会式では、「競技を終えた時、勝ち負けではなく、自分自身が、学級が、学年が完全燃焼し、どれだけ満足できたかが大切である」と伝えました。競技に取り組む真剣さ、最後まで諦めないで頑張る姿、進行をスムーズに進めるための係活動への取り組みなど、生徒達の生き生きとした姿を見ることができました。特に3年生は、下級生の良き見本となる素晴らしい結果を残してくれました。今年度最初の行事での生徒達の様子で、その後の一年間の学校の状態が決まるとよく言われます。その意味でも大成功であったと思います。ご声援・ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

さて、5・6月は「いのちの教育」月間です。本校では、「生命尊重の心情を育て、いじめのない学校、思いやりの心を育むこと」を目指し、道徳の授業を各学級で行いました。校長としても、全校朝礼で「いのちの大切さや差別のない学校」について話をしました。高井戸中学校に勤務していたこともあり、「アンネのバラやアンネの日記」のことにふれました。「高井戸中学校の47年間のアンネのバラを育ててきた取り組みや生徒の願い、ユダヤ人というだけで差別され、苦しめられ自由な生活ができなかったアンネ・フランクのこと」などを話し、最後に「いのちのこと、平和と差別のない世界のこと」について、全校生徒に考えてもらいました。

私達が生活している学校や社会でも、自分一人だけがよければいいという考えではうまく生活していくことはできません。互いに協力し合い、助け合いながらよりよい生き方を目指すことが必要です。ですから、自分勝手な行動をせず、相手のことを考えて我慢しなければならない場面もたくさんあります。今回の体育大会でも言えることですが、一人一人の顔や体格が違うように、運動能力にも一人一人のモチ味があります。100m・150m走が強い人、綱引きが得意な人などそれぞれです。ムカデ競争では、運動の得意な人が苦手な人を助けたり、どうすればうまくいくのかを考えないと成功しません。つまり、一人一人の違いを認め、思いやりの気持ちをもつことが大切です。

日頃の、学校での生活や、授業中・部活動でも同じです。仲間はみんな一人一人違う個性をもっています。その違いを認めて、思いやりの心を忘れなければ、いじめなどは起きません。これからも一人一人の違いを認め、思いやりの心をもって、みんなが大切にされる素敵な神明中学校にしていきたいと思います。

《6月のアルバム》

《体育大会》6月4日（土）



【7月の予定】

1（金）	校外学習（横浜方面）（2）
4（月）・5（火）	理科出前授業（2）
9（土）	土曜授業・全校保護者会
12（火）～14（木）	修学旅行（3）
20（水）	終業式
21（木）～27（水）	三者面談・夏季質問教室